

こんにちは。神経生理学教室です。なんと今年で100周年を迎えるようです。今年度は教員4名、大学院生2名、技術補助員1名、事務補助員1名で活動しています。また多くの学部生が研究や勉強のために教室を訪れています。それでは、教室の皆様から届いたコメントを紹介していきます。

田中真樹（教授）

そろそろコロナ禍も落ち着きつつあり、少しずつ出張や対面の会合なども増え、講義や実習も従来通りとなり、忙しくなってきました。今年は当教室の開講100周年であるとともに、私の教授任期の折り返し地点でもあります。最近、当教室で行った時間知覚に関する10年ほどの研究成果を総説としてまとめる機会がありましたが、研究の世界では10年などほんの一瞬であることを改めて痛感しました。これからの後半戦で、いかにして独創的な研究を展開し、一人でも多くの後進を世に送り出すことができるかふと考えるようになり、与えられた時間を大切にしたいと思うこの頃です。また、今年度から脳科学研究教育センター長を拝命しました。こちらは来年20周年を迎える全学組織ですが、元をたどれば私が学部生だった90年代前半に始まった医学部の「ニューロサイエンス談話会」にルーツがあります。長年にわたり学部を越えた脳科学者の交流と大学院教育を支えてきたセンターのさらなる発展のために尽力したいと思います。

教室内でも今年もいろいろな出来事がありました。春には澤頭院生が学位を取得し、DX特任助教となりました。また、研究補助員の在原さんが退職され、後任に坪田さんが着任しました。現在は、教員4名（田中含む）、大学院生2名、研究補助員1名、事務補助員1名が在籍しており、これに加えて学部3年生の安部君、杉尾君が日常的に研究に参加し、6年生の土田君を始めとする数名の学部生が勉強会などに参加しています。今年は当教室で行った研究成果がトップジャーナルに掲載され、教室員もいくつか学会賞を受賞するなど、着実に研究成果もあがってきています。来年も引き続き、教室内で行われている研究が実を結ぶものと期待しています。

私生活では、コロナ禍が収まって忙しくなるにつれ、朝のジョギングをさぼるようになってしまいました。春先に初めてイトウ釣りに行ってみましたが、寒いだけでした。初夏には厚岸でカキを食べ、夏には黒岳に登り、北海道を楽しんでいます。

岡田研一（助教）

札幌に来て丸2年がたちました。快適な夏と、雪に覆われる冬の生活リズムをなんとなくつかんで、もう普通に35度を越えてくる本州に戻れる気がしません。最近の3歳児のお気に入りにはチーズフォンデュです。器用にクルクルとチーズを絡めてご満悦。

亀田将史（助教）

最近わりと丁寧に暮らせているような気がしています。

澤頭亮（特任助教）

多くの皆様のご支援のおかげで無事博士の学位を取得することができました。現在も特任助教として研究を継続できております。人生山あり谷ありですが、都度ベストな決断をしながら謙虚に歩んでいきたいと思ひます。

鈴木真理（事務補助員）

コロナ禍の始まりに入学した学生も 3 年生になった。

大人も子供もコロナで人生を左右されてしまった人も多いなか、今後は少しずつ幸せを見つけられればと思う。

実はまなす水平線の高さかな（石狩浜にて）

坪田桃花（技術補助員）

4 月から技術補助員としてお世話になっています。未経験だったので日々学ぶことが沢山あるのと、皆様のおかげで楽しく続けられています。今年、生まれて初めてセミを見ました。。

新川幸一郎（博士 3 年）

気が付けばラボ内でも相当な古株になっておりました。体調と相談しながらですが、少しずつでも結果を出せればと思って、日々研究に取り組んでおります。ラボ内では、一応数理系の事柄に強いという立ち位置を確立できているかなと思っているので、今後は手を動かして、これまで勉強してきたことを学位取得に向けて活かしていきたいと思っています。がんばるぞ。

李麗（博士 3 年）

How quickly time flies. My family just added two baby cockatiels and keeps four birds now. I wish them both health and longevity.

井原達夫（小樽市立病院神経内科）

セミナーに参加してから早くも 10 年近くになります。この間の知見の進歩や集積もかなりのものになると思いますが、病院勤務の傍らでの聴講なので理解にはまだ遠いことを自覚させられている状況です。ボランティアによる臨床実験やパーキンソン病の DBS 関連のようなテーマもあり、基礎理論にとどまらず疾患や治療の理解の一助にもなりうると思うのでいつかは現場に還元されることを期待しています。

土田直司（6年）

昨年11月8日に第一子が誕生し、学生期間中に結婚に子育てにと忙しくも非常に充実した日々を過ごさせていただいております。神経生理学教室では、抄読会や輪読会、オンライン勉強会を行うなど、楽しく過ごしております。学業面では、来年2月に医師国家試験を控え、自宅や自習室で問題演習の日々です。

安部楓（3年）

坂の上のロータリーを一周し
帰りがけに眺める景色に夕陽が差し込む

古の世界は終焉を迎え
旅人は最早振り返ることなく歩み出す

暗澹たる夜の後に太陽は昇り
沈黙の内に文字は刻まれた

「従来不失何用追尋」（十牛図）

杉尾凌虎（3年）

教室に通わせていただけるようになってから早一年、少しずつですが成長を実感しています。勉強と実践の両輪を回して成果を残せるよう頑張りたいと思います。

山口竜之介（3年）

102期の山口竜之介と申します。生理学Ⅱの授業を通して脳に興味を持ち、神経生理学教室に顔を出すようになりました。最初はデータの解析から始めてみようと思っています。よろしくお願いいたします。

以上、教室の皆様からのコメントでした。

それでは、みなさまにとって良い年となりますように。（文責：亀田）